

## 放課後等デイサービス たいよう 5領域支援内容



健康  
生活

- 健康状態の維持・改善
- 生活リズムや生活習慣の形成
- 基本的な生活スキルの獲得

| 具体的な支援内容        |   | 活動内容                                   |
|-----------------|---|--|
| 健康状態の把握         | 健康な心と体。健康状態のチェック。<br>本児からの意思表示やサインなど変化の観察。                                | •自分の体調を知り、体を休めたり、<br>伝えることができる         |
| 健康の増進           | 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムの支援。<br>食の育成では、咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等の支援。<br>さらに病気の予防や安全への配慮。 | •一緒に昼食やおやつを食べる<br>•トイレトレーニング<br>•クッキング |
| リハビリテーションの実施    | 日常生活や社会生活を営めるよう、身体的、精神的、社会的な経験を積む。  | •園芸(野菜づくり、収穫)<br>•手洗い、手を拭く、消毒          |
| 基本的な生活スキルの獲得    | 身の回りを清潔にする、食事、衣類の着脱、排泄の支援   | •時間の流れに応じた、行動の切り替え                     |
| 構造化等により生活環境を整える | 楽しく遊び、過ごせるように、時間や空間を本児に分かりやすく構造化する。                                       | •帰るまでの流れを見てわかりやすく過ごす<br><br>など         |



- 姿勢と運動・動作の向上
- 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- 保有する感覚の総合的な活用

| 具体的な支援内容            |   | 活動内容  |
|---------------------|---|---|
| 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上   | 姿勢の保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>•散歩や地域の公園に行く</li> <li>•体操</li> </ul>               |
| 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 | 困難な場合、補助用具等の補助的手段を活用する。                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>•ダンス</li> <li>•トランポリン</li> <li>•バランスボール</li> </ul> |
| 身体の移動能力の向上          | 自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、移動能力の向上のための支援を行う。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>•ボール遊び</li> <li>•水遊び</li> </ul>                    |
| 保有する感覚の活用           | 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通じて支援する。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>•スライム作り</li> </ul>                                 |
| 感覚の補助及び代行手段の活用      | 眼鏡や補聴器等の各種補助機器を活用できるよう支援する。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>•ゲーム、クイズ</li> <li>•感覚過敏に配慮した環境設定</li> </ul>        |
| 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応 | 感覚や認知の特性(感覚過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。       | <p style="text-align: right;">など</p>  |

認知  
行動

- 認知の発達と行動の習得
- 空間・時間・数等の概念形成の習得
- 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

|                    | 具体的な支援内容  | 活動内容  |
|--------------------|---|---|
| 感覚や認知の活用           | 視覚、聴覚、触覚等を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す。                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>•ブロック</li> <li>•制作活動</li> </ul>  |
| 知覚から行動への認知過程の発達    | 環境から情報を取得し、行動につなげる一連の認知過程の発達を支援する。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>•音楽(キーボード、電子ピアノ)</li> </ul>  |
| 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 | 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>•絵カード、写真カードで情報認知</li> <li>•一緒に行動する情報認知</li> <li>•真似る事での情報認知</li> </ul> |
| 数量、大小、色等の習得        | 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>•一日の振り返り</li> </ul>  |
| 認知の偏りへの対応          | 自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援したり、認知の偏りの特性に配慮する。<br>こだわりや偏食等に対する支援を行う。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>•外出活動</li> <li>•送迎車の安全な乗り方</li> </ul>                                  |
| 行動障害への予防及び対応       | コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、および望ましい行動への支援を行う。                             | など  |



- 言語の形成と活用
- 言語の受容及び表出
- コミュニケーションの基礎的能力向上
- コミュニケーション手段の選択と活用

| 具体的な支援内容                    |   | 活動内容   |
|-----------------------------|---|--|
| 言語の形成と活用                    | 事物や体験と言葉の意味を結びつける事で、言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>•伝言ゲーム、連想ゲーム</li> <li>•カード、ボードゲーム</li> </ul>                  |
| 受容言語と表出言語の支援                | 話し言葉や各種の文字、記号を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする支援を行う。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>•誕生日会</li> <li>•散歩や公園での会話や動作</li> </ul>                       |
| 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得    | 人との相互作用を通じて、共同注意(気持ちの共有)の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>•文字、絵カード、写真を使用して、スケジュールの理解や意思の伝達</li> <li>•一日の振り返り</li> </ul> |
| 指差し、身振り、サイン等の活用             | 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>•創作活動</li> </ul>  |
| 読み書き能力の向上のための支援             | 特性に応じた、読み書き能力の向上のための支援を行う。                              |  |
| コミュニケーション機器の活用              | 文字、記号、絵カード、写真、機器等の手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。  |  |
| 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 | 手話、点字、音声、文字、触覚等、多様な手段を活用し、意思伝達ができるよう支援する。               | など   |

人間関係  
社会性

- 他者との関り(人間関係)の形成
- 自己の理解と行動の調整
- 仲間づくりと集団への参加

| 具体的な支援内容         |   | 活動内容   |
|------------------|---|--|
| アタッチメント(愛着行動)の形成 | 人との関係を意識して、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>•職員と一緒に楽しい事の共有</li> <li>•誘い合って遊ぶ</li> <li>•ごっこ遊び</li> </ul> |
| 模倣行動の支援          | 人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援する。                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>•まねっこ遊び</li> <li>•買い物体験</li> </ul>                          |
| 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 | 感覚運動遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通じて、社会性の発達を支援する。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>•お友達の特性や自分の特性のお話</li> </ul>                                 |
| 一人遊びから共同遊びへの支援   | 一人遊びから並行遊びを行い、大人の介入で連動的な遊び、役割分担やルールを守る共同遊びを通じて、社会性の発達を支援する。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>•隣接する就労B事業所の見学や体験</li> <li>•近隣の公園へ外出して遊ぶ</li> </ul>         |
| 自己理解とコントロールの為の支援 | 大人を介在して自分のできる事、できない事、自分の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができるように支援する。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>•自分の気持ちを伝えやすい環境</li> </ul>                                  |
| 集団への参加の支援        | 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。                       | など   |